

あさお希望のシナリオプロジェクト テーマ1 第2回検討会 主な意見

【グループ1（食育1）】

No.	やってみたいこと	どんないいことが生まれるか(効果)	課題
1	タヌキのキャラクター作り。 平成タヌキ合戦ぼんぼこ上映。	多くの世代にこの土地のことを知ってもらおう。(新百合といえどタヌキ)	
2	子ども農業大学		
3	玄米菜食の普及	ガン予防になる	
4	地元の農業のことを知りたい(有機、無農薬やっているか?)		
5	場所を探して食作り(コミュニティと農作物作り)	食を通じて様々な障害をとばらって生きやすく	
6	高齢者の知恵、知識を広める、人材発掘		
7	外に出られない高齢者向けの食堂(おとな食堂)	・多世代交流につながる(作るのは子ども。でも、その逆でも) ・高齢者の外出機会に	
8	農家の取組や地元の野菜を地元の人に知ってもらうイベント	農業の活性化	
9	親子で食にまつわる場所を巡る散歩などのイベント	子どものみならず大人にも興味を持ってもらう。楽しく学べる	
10	実験教室、料理教室		

【グループ2（福祉）】

No.	やってみたいこと	どんないいことが生まれるか(効果)	課題
1	小さいお子さんを抱えた親御さんをサポート	・子育て世代が働きやすいまちになる ・シニアの方も活躍でき、多世代交流が出来る	
2	バス(麻生総合病院、湯快爽快等)の共有化。新百合ヶ丘北口の発着場をもっと有効活用する。	子育て世代や高齢者、買い物難民の方の不便を解消し、生活がしやすくなる	高石地域でまわっているやまゆり号のようなものを、もう少し民間の形を借りて緩やかにできないか
3	現在の問題を明確化	話し合うことで、具体的にどういうことに取り組んでいくかという基本的な枠組、方向性が出る	
4	高齢者、現在お仕事をしていない人、引きこもっている人などすべての人が役に立っていくという具体的な取組み		
5	働ける施設。高齢者(特に認知症等の方)がデイサービスや施設で少し働き、民間企業から謝礼をもらえるような仕組み。ボランティアではなく対価労働。	社会とつながり、普通に近い暮らしができる	家庭で出来るような仕事で良い
6	自然に交流が生まれる場づくり		子供が高齢者とつながる場がないし、そういう場所もない。
7	認知症、特に若年性認知症の方の居場所とか働ける場所	いきがい、やりがいの向上、つながりの輪。ネットワークがしっかり出来る	つなげるための資源の把握。協力企業などを知ることが課題
8	子供たちの環境、子供の問題、働きながら子育てしている方へのサポート	置いてきぼりにされてきた人たちへアプローチできる	
9	気軽にふらっと参加できる仕組み		
10	オンラインツールを活用していく		
11	片手間の支援	子どもでも誰でも誰かの役に立つことで、本人たちも喜びを覚える	

【グループ3（防災）】

No.	やってみたいこと	どんないいことが生まれるか(効果)	課題
1	防災会を機能させること	地域で安心・安全、楽しく過ごせる、隣近所との声のかけあい	防災会がコロナにも対応できるようにしたい
2	風水害など知識が重要	自助が生まれれば、共助・公助へつながる。	知識がないと不安につながってしまう。
3	地域性のある防災パンフレットをつくる	自分の状況にあった防災対策がとれるようになる	絶対的に必要な情報を抽出してなるべく少ない枚数にまとめる
4	歴史を学ぶ、江戸時代の災害の教訓を現代に活かす。	危機感を持ち、備える。	危機感の共有をしたい。
5	「東京防災」という冊子(本)の普及	市の広報がわかりにくいいため、具体的にわかりやすく対策を伝えられる。	
6	町内会での日常的な事(貯水タンク、トイレのつまり、家事など)へのルール作り、知識の共有	情報の共有ができる	
7	学校で子どもたちと多世代間の学習	人から人へ啓発することで防災を継承することができる。	情報社会ではあるが、今はまだ、口々に伝えていって啓発活動をしなければならない、伝承で若い世代に伝えていかないといけない。
8	コロナ禍における避難所開設の検討	マスク・体温計測以外にも様々な感染防止策を取れる	まったく初めてのケースのため、対応策がわからない。
9	今ある情報(ガイドマップかわさき)を活かせるようにしたい	情報があることがわかることで、活用・対策が一步進む	

【グループ4（食育2）】

No.	やってみたいこと	どんないいことが生まれるか(効果)	課題
1	楽しいことをお金がかからない形で		
2	野菜などの「旬」を知らない子どもたちが多と思うので、それを子どもたちに教えて、食に触れさせたい。		
3	農家のお手伝いなどを通じて、子どもたちと農業をつなぐ。空き農地の活用。		金銭的な問題がある。農家に負担感なく実施する必要がある。農地は法律で借りられないことになっているなど、法律の勉強会も必要。
4	野菜がどこで作られ、どこで販売され、どこの店でどのようなメニューになるのか、「野菜の一生」のような動画の作成。 今流行っているコマ送りのレシピ動画のようなもの。	・麻生区の特徴を知り、地元だけ知らなかった新たな発見が得られたり、新たなメニューのアイデアを知れる。 ・動画を見て、お店に足を運ぶ人が増えれば地域活性化につながる。	特定の農家やお店の宣伝になってしまう可能性がある。広報の方法や、継続するための仕組みの検討が必要。お金の問題もある。
5	麻生の食をもっと知ってもらうための広報(地元の人も、意外と地元のことを知らない人が多い)	健康でいきいきといられる。また、食に関心を持つことで自然環境やゴミ問題も考えるきっかけとなる。	必要な人への届け方に工夫が必要。SNSだけではなく、SNSが苦手な高齢者にも届けたい。継続するための仕組みが必要。
6	・クイズやビンゴを親子でしながら畑の観察会や収穫体験 ・地区ごとのマップやパンフレット作り	・野菜がどんな風に行けるのかを子どもたちに知ってもらう ・農のある麻生への愛着が生まれる ・農家との交流	
7	郷土の食イベント	麻生の風土を知ることができる。	
8	食に関連したカルタ作り	子どもたちと俳句を作る方々との交流	
9	粉末化した竹で抗菌の食器やゴミ袋作り	地域資源の循環	

【グループ5（美化）】

No.	やってみたいこと	どんないいことが生まれるか(効果)	課題
1	緑地のグランドデザイン(まちのひろば化)	区全体がつながる	他分野の団体などを巻き込んでいくためのシステムづくり
2	例えば地域でベランダやテラスに同じ花を一鉢置いてみる(一鉢活動)	住民同士の連帯感	出来る限り多くの人がフラットに参加できるように
3	南口デッキの美化活動(鳩フン清掃、植栽活動)を多くの市民、団体と実施	まちに係る人たちの一体感	コストがかかる。クラウドファンディングなども有効
4	あまり活用されていない公園・緑地で市民とつながれるような取組	まちに係る人たちの一体感	
5	駅前や植え込み等の植栽。単発の清掃・美化活動の継続実施	継続して美化が保たれる	町会等の地域とつながるためにどうしたらよいか。専門家が必要。メンテナンス等にコストがかかる(資金調達)
6	マスク回収ポストをつくる。単発のゴミ拾い活動等のつながりをもっとつくる。	マスクのポイ捨てが減る	参加等に関して押しつけにならないように配慮する。感染リスクが高まるかもしれないので十分な対策が必要。
7	地元住民・企業と共に清掃活動を広げる。現在行っているデッキ活動の取組を区内全域に広げる	活動による達成感。地域の方とコミュニケーションが図れる	募集方法をどうするか。主催者はだれか。大勢の人が参加すれば密になる。ゴミの回収や廃棄にはコストがかかる。
8	アスファルト舗装から出ている雑草等により段差の箇所が多くあるので、インフラ調査を道路公園センターと一緒にやる	まちの美化だけでなく、転倒防止にもつながる	

【意見交換】

(かきまる君)

- ・禅寺丸柿が食べられるということをもっと知ってもらいたい
- ・禅寺丸柿を使ったお菓子を売っていることをもっとPRしたらよい

(公園)

- ・麻生区の公園は草がボーボーで人が立ち入れないところもある。そういうところは、違う用途にした方がよいのではないか

(緑のグランドデザイン)

- ・公園や里山でまちのひろばを作ること。グランドデザインは、色々な人を巻き込みながら、老若男女が集えるようになるためには、地域の理解も必要

【グループ6（オンライン）】

No.	やってみたいこと	どんないいことが生まれるか(効果)	課題
1	こども食堂を広げたい。居場所づくり、地産地消推進。		
2	情報の発信。仕組みづくり(防災)		
3	情報が点在しているので、情報を行きわたらせる(ポータルサイト)		
4	地元の活動に参加したい		
5	色々な分野を1つにまとめたイベント(音大、アートセンター等巻き込んで)	若い世代も気軽に参加できる	麻生区ではすでに各分野ですばらしい活躍をしている方々がたくさんいる。10年後に色々な分野を紹介するフェスが定着して、他都市からも参加してくる状態だとよい。
6	食で、人と人をつなぐ	10年後の麻生区のため人と人が食で繋がれば	
7	防災があるのが普通で身近なものにする		
8	区民祭を新しい形で実施できたらよい	新しさ、麻生区らしさを出せたら	
9	健康維持、高齢者が人と話せる環境づくり		
10	小学校からの防災教室	危機管理意識を持ってもらう	
11	麻生音楽祭をより魅力的なイベントに	メインのイベントにちょっとずつ他分野を入れ込んで一体的にすることで、分野間の連携やつながりが生まれる	
(その他意見) ・地域通貨 ・フェス等でスポーツの分野もあるとよい			